



横浜市 技連協だより

第 16 号

平成 14 年 3 月 20 日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上 三 寶
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7
電話 045-681-6553 FAX 045-664-9400

技連協研修会の開催

FIFAワールドカップ開催まで九十五日に迫った二月二十五日(月)、横浜市技能文化会館二階多目的ホールで、ハマふれんど事業主セミナーが開催され、技連協としても、参加者総数一三〇人のうち、七十一人が参加しました。

主催者を代表しての高秀市長の挨拶に引き続き、財団法人日本サッカー協会名誉会長で財団法人2002FIFAワールドカップ日本組織委員会副会長である長沼健氏を講師に迎え、「勝利へのプラス思考・強い組織(チーム)を作る条件」と題して、日本のサッカーリーグ草創期からのエピソードを交えつつ次のようなお話をされました。

今回、横浜がFIFAワールドカップサッカーの決勝戦の地となることは、世界に「横浜の街を歩いたら、市民の笑顔に出会えるよ」という発信ができる貴重なチャンスです。

さて、アジアのこのエリアで必ず対戦相手となる韓国に勝つために、日本にもサッカーリーグをつくらなければということになりました。

メキシコオリンピック第一戦ナイジェリア戦の試合を控えてキャプテンである八重樫が靱帯を切ってしまい、ドクターストップがかかりました。さあ、困った。前日、ユニフォームの洗濯をしている選手たちのところに彼がやってきて、「休め。あしたは死ぬほど走らされるから。」と告げました。その晩、

選手たちは、天井を見ながら、「よし、明日は八重さんの分まで俺はやる。」と心に誓ったことでした。

とでしよう。実際あれほど走りぬいた試合はありませんでした。

キャプテンが重傷を負ったとき、自分たちは何をすればいいのか、

チームワークの中でみんなはそれがわかったのです。チームワークの中で前へ進んでいかれば、

たとえそのときは負けたとしても将来の勝利につながります。

混成のチームワークの中で、

プラスに考えることは六〇年代

に日本に来てくれたドイツ人の



講演する長沼 健氏



挨拶する川上会長

クラマーさんが教えてくれました。子どもの身になって教えてあげる。相手が憎いと思う前に、自分たちのチームのそれを排除しよう。負け後のミーティングでは選手たちが心をふさいでいるので、メッセージはあつさり。その代わり試合の前には各持ち場ごとの注意のほかに、「世界ナンバーワンサントスをドリブルで抜いてみよう。」とか「学生だけ君の右四十五度のシユートはアマチュアじゃないよ。だけどその他の角度はハイスケールポイに劣るよ。練習しなさい。」とか、選手の個性を見抜いた上での説得力のあるはっぱのかけ方、モチベーションの上げ方を心得ていました。日本の剣道の「残心」を引き合いに出して、ボールは跳ね返るとどこへ来るか、相手は最後の力をそこに突きつけてくるかもしれない。心を残して最後まで戦い抜く精神を、選手に、子どもにも、どうやってわかってもらうのが指導者の仕事です。チームにおいても、家族の中でも。

平成十四年新春交流会開催

平成十四年二月二十五日(月)研修会終了後、会場をホテル横浜ガーデンに移して、午後四時三十分から平成十四年新春交流会を開催し、百名ほどが参加されました。

開会にあたり、川上三寶会長からは「昨年の技能まつり等の活動に対するお礼と、今日の技能職者を取巻く、大変厳しい環境の中で自らの技能・技術を信頼し、自信をもって立ち向かって行くことが一番必要な時ではないか。」と挨拶がありました。

来賓として、お招きした高秀秀信市長からは「日頃の技連協の活動に対する激励と市政に対する協力への感謝」の祝辞をいただきました。

この後、青年部の皆さんにも手伝ってもらってカラオケを行い、大いに交流会を盛り上げることが出来ました。

ご協力ありがとうございました。



親しく懇談される高秀市長

2002年ワールドカップサッカー横浜開催を成功させよう!

第22回 技連協ボウリング大会結果報告

2月19日(火) 新杉田ボウルで、17団体、20チーム80名が参加し、熱戦が展開されました。結果は次のとおりです。

団体の部 (1チーム4名の2ゲーム)

| | | |
|-----|------------------------|---------|
| 優勝 | 神奈川県宝飾工芸組合 A | 1,549ピン |
| 2位 | 神奈川県建設労働組合連合会横浜地区協議会 A | 1,424ピン |
| 3位 | 神奈川県洋服商工業協同組合 | 1,363ピン |
| 4位 | 横浜市屋外広告美術協同組合 A | 1,360ピン |
| 5位 | 横浜繊維加工協同組合 | 1,317ピン |
| 6位 | 横浜市板金組合連合会 | 1,243ピン |
| 7位 | 神奈川県宝飾工芸組合 B | 1,231ピン |
| 8位 | 神奈川県建設労働組合連合会横浜地区協議会 B | 1,209ピン |
| 9位 | 技連協青年部 A | 1,193ピン |
| 10位 | 横浜建具組合連合会 A | 1,176ピン |
| 11位 | 横浜市社交飲食喫茶業連合会 | 1,175ピン |
| 12位 | 横浜市屋外広告美術協同組合 B | 1,116ピン |
| 13位 | 全日本司厨士協会神奈川県本部 | 1,111ピン |
| 14位 | 横浜市理容連合会 | 1,097ピン |
| 15位 | 市民局勤労福祉課 | 1,077ピン |
| 16位 | 横浜建具組合連合会 B | 1,039ピン |
| 17位 | 技連協青年部 B | 1,022ピン |
| 18位 | 神奈川県印章業組合連合会青年部 | 952ピン |
| 19位 | 全日本建築士会神奈川県支部 | 893ピン |
| 20位 | 横浜量組連合会 | 838ピン |

横浜市長賞

神奈川県宝飾工芸組合 A

個人の部 (2ゲーム)

| | | | |
|----|-------|----------------------|-------|
| 優勝 | 伊藤 伸明 | 神奈川県宝飾工芸組合 A | 415ピン |
| 2位 | 菅原 盛 | 神奈川県建設労働組合連合会横浜地区協議会 | 406ピン |
| 3位 | 高野 周三 | 横浜市屋外広告美術協同組合 A | 405ピン |
| 4位 | 田中 義治 | 神奈川県宝飾工芸組合 A | 385ピン |
| 5位 | 山崎 雅樹 | 神奈川県宝飾工芸組合 A | 377ピン |
| 6位 | 勝又 春雄 | 神奈川県宝飾工芸組合 A | 372ピン |
| 7位 | 前田 晋 | 横浜市社交飲食喫茶業連合会 | 367ピン |
| 8位 | 高田 誠 | 横浜建具組合連合会 A | 362ピン |
| 9位 | 北村 勝美 | 神奈川県建設労働組合横浜地区協議会 A | 360ピン |

ハイゲーム賞

高野 周三 横浜市屋外広告美術協同組合 A 222ピン

ブービー賞

藤本 富雄 全日本建築士会神奈川県支部 181ピン

ラッキー賞

| | | | |
|-----|-------|----------------------|-------|
| 10位 | 鶴岡 孝 | 横浜市板金組合連合会 | 359ピン |
| 20位 | 山本 圭一 | 神奈川県建設労働組合連合会横浜地区協議会 | 336ピン |
| 30位 | 阿部 竹松 | 全日本司厨士協会神奈川県本部 | 313ピン |
| 40位 | 村上 雄二 | 神奈川県宝飾工芸組合 B | 285ピン |
| 50位 | 大橋 和正 | 神奈川県印章業組合連合会青年部 | 270ピン |
| 60位 | 大門 強 | 横浜市理容連合会 | 253ピン |
| 70位 | 宍倉 岳 | 横浜量組連合会 | 232ピン |
| 80位 | 鄭 愛京 | 横浜量組連合会 | 171ピン |



団体優勝の神奈川県宝飾工芸組合Aチーム

個人優勝の伊藤伸明さん
(財団 会沢常務理事と)

熱戦の会場風景

技能職資金融資の募集

横浜市では、技能職の振興や経営の安定化を図るため、無利息・無担保の融資を行っております。融資には、業務用機械・器具の購入資金として融資する設備資金と、業務用原材料の購入資金として融資する振興資金があります。

◇対象者

技能職者で市内で一年以上同一職業を営み、市内在住・在営の方。(ただし、二店舗以上経営又は経営しようとしている方、従業員が十人以上いる経営者の方は除きます。)

◇融資額等

| 返済 | 用途 | 受付期間 | 融資額 | 資金 |
|------------------|--|---------------|-----------------------------|------|
| 6か月据置 50回月賦返還 | 業務用機械・器具(新品)の購入 車輦(材料等の運搬用)、エアコン、内装施工を含む。 | 5月7月9月11月1月3月 | 20万円～150万円 (対象経費の3分の2以内) | 設備資金 |
| 2か月据置 20回月賦返還 | 業務用原材料の購入 | | 20万円～120万円 | 振興資金 |

◇お問合せ

横浜市市民局勤労福祉課
〒231-0017 横浜市中区港町一ー一

TEL 045 (671) 2337
FAX 045 (664) 9188

※市のホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/kinpuku/kasituke.html>)
でも詳しい内容を閲覧いただけます。

なお、申請書は、ご来庁または90円切手を同封の上、郵送でご請求されるか、市のホームページからもダウンロードできます。

職人技を披露

第八回 第九回

職人から学ぶ講座開催される

職人のすばらしい技能の存在を市民の方々に伝え、技能文化会館が、横浜の技能文化の発信の拠点になることを目的に二月一日(金)「パン作りを学ぶ」と二月六日(水)「和菓子作りを学ぶ」が技能文化会館で、それぞれ開催されました。

両講座とも前回応募者数が二〇〇名を越える人気だったため追加で開催することになったので、そのためか講師団体となった各組合講師陣も前回以上に気合が入り、家庭でも手軽に作れる職人技の味を参加者に伝授しました。

特に「和菓子作りを学ぶ」の講座では、横浜市菓子協会の会員が、五グループに分かれた



第8回 「パン作りを学ぶ」
2月1日(金)



第9回 「和菓子作りを学ぶ」
2月6日(水)

参加者の作業台にそれぞれ付き添い組合作成のレシピに従い、粉の練り方やあんの包み方等を指導し、予定時間内で伝統和菓子三点を作り上げました。

前回同様、参加者の大半が、和菓子作りは初めてでしたが、丁寧な指導のおかげで初めてとは思えない、見栄えの良い和菓子が出来上がりました。各自出来上がった和菓子を試食後、組合で用意した容器に入れ、自宅へのお土産として、満足げな様子で家路につきました。

なお、今回も講座終了後に参加者の方から、喜びのお礼状が事務局に届き、成果のあった講座が開催できました。

今後も技能文化会館では、職人から学ぶ講座を会館のメイン講座として、実施していきますので、技連協各組合のご協力をお願いするとともに、企画等提案がございましたら事務局までご連絡ください。

平成十四年度

横浜マイスター、

横浜市技能職育成団体の募集

横浜市では、手仕事・手作業を主体とし、習得に熟練を要する技能職者等の後継者育成のため活動する「横浜マイスター」(技能職者)と「横浜市技能職育成団体」(技能職者等で組織する団体)を募集します。

横浜マイスターに選定されると横浜マイスターの称号が授与され、毎年度五十万円を上限として五年度間、活動奨励金が支給されます。

また、横浜市技能職育成団体に選定されると単年度で二十万円を上限として、活動奨励金が支給されます。

現在二十七人の横浜マイスターが、日々の後継者育成、地域や市・区行事での技能披露・講演会、学校等での技能指導に活躍中です。

◇申込み 四月一日(月)から五月十日(金)までに所定の用紙で市民局勤労福祉課へ。申込用紙は、ご来庁または郵送でご請求ください。

◇お問合せ 横浜市民局勤労福祉課

〒231-0017 横浜市中区港町一一一

TEL 045 (671) 4098

FAX 045 (664) 9188

雑感

(財)横浜市勤労福祉財団

常務理事 会沢 芳一

脚下照顧

「いい年していつまでも独身ではいかな。世間はキミを一人前としてみてくれないよ」法事の際で親戚の長老が青年を諭していました。

民法では「男は満十八歳、女は十六歳にならないければ婚姻できない」とされています。けれども何歳までに結婚しなければならぬという法的な定めはないのです。結婚する、しないは当然のことながら本人が決めることで、憲法は「婚姻は両性の合意のみに基いて成立し」とうたっています。

平成十二年の国勢調査の結果、横浜市の人口が発表されました。二十五歳から二十九歳までの男性の未婚率は七十四%（昭和五十五年・六十%）、女性は五十六%（同・二十四%）、確実に晩婚化がすすんでいます。

独身だと一人前とみなさない「世間」とは一体なんだろう。結婚している人々がまともで、未婚の人々は変わっているのだろうか。結婚して

も「この人ほんとに大丈夫かな」と首をかしげたくなる人もいます。

既婚か未婚かで、人を値踏みしてしまうことはおかしいことと思っただけでも「いつまでも独身でいるのはまともじゃない」「どこか体の具合でも悪いんじゃないか」という話にうなずいている自分がいないでしょうか。

日々の暮らしの中で、私たちは往々にして、つもりがちがいを繰り返していることを川上三實会長から伺ったことがあります。

川上流で言うなら「もってるつもりで、もつてないのが『思いやり』。もつてないつもりで、もつてるのが『思いつき』」「してるつもりで、してないのが『努力』。してないつもりで、してるのが『差別』」ではないでしょうか。

酔っていないながら「私は素面だ」と言い張る人がいるように、「私はまともで差別なんかするような人間じゃない」と口にしつつ、心にこだわりを抱いて暮らしています。

脚下照顧。つもりがちがいのないように、心がけていきたいものです。

お知らせ

・星 平之丞氏 逝去

平成十三年十二月二十六日(水)、技連協理事(横浜シャツ商工組合長)の星 平之丞氏が永眠されました。六十九歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

・勢津 栄興氏(神奈川県中日調理師会会長)

第七回NHK地域放送文化賞受賞

同賞は、年間を通じて関東甲信越地域の文化・生活・産業の発展に功績をあげ、NHKの放送活動に貢献した人に贈られるもので、八人二団体が選ばれ二月二十五日に授賞式が行われました。

創業 1913 年

佃煮・煮豆

横浜のれん会の店

利根川屋

売店：横浜高島屋・港南台高島屋
横浜松坂屋 各食料品売場

TEL 045-775-1149

<http://www.tonegawaya.com>

御相談下さい

プラスチック板/木板/金属板
ステッカー/各種素材への印刷

株式会社 加納スクリーン

TEL (045) 842-0038

FAX (045) 845-4810

E-Mail : kanoh-s@f5.dion.ne.jp